

【保土ヶ谷区】平成 30 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 30 年 9 月 5 日 午後 3 時 30 分 ～ 午後 5 時
場 所	保土ヶ谷区役所本館 2 階 202 会議室
出席者	<p>【座 長】 齊藤 伸一 議員</p> <p>【議 員： 4 名】 磯部 圭太 議員 坂井 太 議員 森 敏明 議員、 北谷 まり 議員</p> <p>【保土ヶ谷区：30 名】 菅井 忠彦 区長 齊藤 慶彦 副区長 南 有里 福祉保健センター長 比嘉 規之 福祉保健センター担当部長 秋山 禎治 保土ヶ谷土木事務所長 宮代 徹 保土ヶ谷消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 29 年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について</p> <p>2 平成 30 年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行状況について</p> <p>2-1 平成 30 年度災害対策推進事業の取組状況について</p> <p>2-2 ほ도가や happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～について</p> <p>2-3 ほ도가や元気づくり事業について</p> <p>2-4 地域見守り推進事業について</p> <p>2-5 税務課におけるレイアウト変更について</p>
発 言 の 要 旨	<p>議題 1</p> <p>平成 29 年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について</p> <p>北谷議員：</p> <p>エコ活動推進事業の「ほ도가や地球温暖化対策推進ネットワーク」について教えてほしい。次に、生活保護受給者に対する家計相談支援事業だが、保護世帯が適切に管理できるよう支援とあるが、詳しくどのような支援を行ったのか教えてほしい。</p>

次に、保土ヶ谷商工業支援事業について、製造業を含む企業への支援について具体的に教えてほしい。最後に、緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業だが、実務上の課題と事業効果を検証した結果を教えてほしい。

宮本区政推進課長：

「ほ도가や地球温暖化対策推進ネットワーク」については、メンバーに対して家庭でできる温暖化対策に関する取組やイベントの情報提供をメールで行っている。なお、今年度に入ってから、地球温暖化対策に関する区としての推進組織を明確にするため、「ほ도가や地球温暖化対策推進ネットワーク」を「ヨコハマ3R夢保土ヶ谷推進本部」に統合して、新たな推進組織を作っている。

西田生活支援課長：

家計相談支援事業の内容として、1か月の最低生活費で生活がうまくできない家庭に対しての家計管理指導、光熱水費の滞納がある家庭には適切に支払いできるように指導、債務を抱えた方に対して法テラスなどを活用した指導、子どもの進学費用の貯蓄についての相談など、家計に関する様々な相談を受け支援を行った。

大山地域振興課長：

保土ヶ谷商工業支援事業での製造業を含む企業の支援については、横浜西部工業会の事務局と連携して、工業会に加盟している企業を中心とした紹介パネルを作成し、区役所1階で展示を行った。

大友総務課長：

緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業については、FAXやメールの操作に慣れない方に対して、電話を利用して自動音声で情報を流し、ボタンを押して返答してもらう双方向の機能を有するシステムを試行運用した。昨年度末に近い時期にスタートし、今年度も運用の中で検証を行っている。課題としては、自動音声聞き取りづらい、ボタン操作がやりづらい、という意見があり、なるべく多くの方に情報を確実に伝える一つの手法として始めたものであるが、今後も改良の余地があるため、運用の中で改善を図っていきたい。

森議員：

保土ケ谷区地域防犯力向上事業だが、最近オレオレ詐欺や空き巣がかなり発生しているようだが、区でその発生件数は把握しているか。

大山地域振興課長：

具体的な件数は今手元にないが、毎月の区連会定例会で警察署から発生件数等の報告をしている。

森議員：

一向に減らないのか、増えているのか。

大山地域振興課長：

減っていないという報告を受けている。

森議員：

自宅にいと、「オレオレ詐欺にひっかからないように」という広報車が周ってくるが、1か月に1回程度。それだけで抑止力があると思えない。区としても何らかの手立てを考えた方がよい。

大山地域振興課長：

ご指摘いただいたとおり、区内でも振り込め詐欺が減っていないことを踏まえて、保土ケ谷警察とともに、区としてどのような啓発ができるか協議していく。

森議員：

同じパターンで詐欺にひっかかっているため、キャンペーンだけやれば良いということではなく、日々の活動の中で繰り返し訴えていく必要がある。警察の協力は必要だが、区独自で町内会や区連会などで、どういった方法があるのか協議し、何かできることがあるか考えてほしい。500万円くらい予算があるので、何かできるのではないか。

大山地域振興課長：

毎月の区連会の中で、連合町内会長と意見交換を行う場を設けている。

ご意見を踏まえ、区としてどのようなことができるか、町内会長等と議論をして前向きに検討してまいりたい。

議題 2-1

平成 30 年度災害対策推進事業の取組状況について

質疑等なし

議題 2-2

ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～について

北谷議員：

児童虐待が増えている中で、日ごろからの子育てサポートが虐待予防という観点からも重要。そのような視点をどのように事業に組み込んでいるのか。

飯田こども家庭支援課長：

リーフレットでも「孤立」がポイントになっている。孤立を感じている親が、今はそうでなくても、将来的に子どもに対してつらくあたってしまう可能性が出てくる。親子関係をさらに良くするという視点で様々な取組を行っていくことで、虐待の芽を摘むという予防効果があると考えている。

北谷議員：

重要な事業だと思うので、よろしくお願いします。

議題 2-3

ほどがや元気づくり事業について

質疑等なし

議題 2-4

地域見守り推進事業について

斉藤議員：

民生委員が年配の方も増えているなかで、協力員の年齢構成はどのようになっているか。

	<p>青木福祉保健課長： 民生委員OBの方も何名かいるが、若い方で今後民生委員になっていた だけそうな方も半分くらいいる。</p> <p>斉藤議員： 自分の次の民生委員として、ということもあるのか。</p> <p>青木福祉保健課長： そういう方もいる。</p> <p>議題 2 - 5 税務課におけるレイアウト変更について 質疑等なし</p>
備 考	